

第14回猪名川キッズ杯 開催要項

主催・主管 猪名川町軟式少年野球連盟

大会主旨

Cチーム及び、Dチームの子供すべてがゲームに参加・出場できるよう、勝ち負けに拘らない環境で、楽しく思い切りのいいプレーができ、野球を楽しむ為の大会とする。
また、子供の体力面・精神面にも無理がないように参加できることを第一とする。

参加資格

- ① Cチーム：4年生以下だけで10名以上の選手がいること。(5年生女子選手は参加可能、バッテリー不可)
- ② Dチーム：3年生以下だけで10名以上の選手がいること。(4年生女子選手は参加可能、バッテリー不可)
- ③ CチームとDチームの重複登録は予選リーグ戦のみ認める。
(決勝トーナメント出場時には試合日程の都合により認めない。)
- ④ 参加を希望するチームの部員数が9名未満の場合、参加希望チーム間で協議し、
連合チームとして参加することを許可する。

運営

猪名川連盟所属チームにて共同で企画・運営にあたる事とする。
又、試合日程などは猪名川連盟ブロック担当者が調整を行い、各チームに連絡する。

ルール

猪名川町軟式野球連盟大会規定に準拠する。

参加チーム

C級：16チーム
D級：12チーム

スケジュール

令和元年8月24日(開会式)～11月10日(決勝トーナメント)の3ヶ月で試合を消化する。
試合日程、会場についてはブロック担当責任者より連絡いたします。

試合会場

猪名川町立小学校 5校
(猪名川小学校・つつじが丘小学校・白金小学校・大島小学校・松尾台小学校)
猪名川町スポーツグラウンド・向山公園・登り尾公園、つつじが丘多目的グラウンド他

開会式

日時：8月24日(土) 9：30 (受付開始 8：30)
場所：猪名川町スポーツグラウンド(雨天中止時は午前6時30分に決定しメールで連絡します)

決勝トーナメント

日時：11月10日(日) 10：00 <予備日：11月17日(日)10：00 場所未定>
場所：猪名川町スポーツグラウンド

抽選会

日時：8月4日(日) 猪名川連盟理事による代理抽選とする。

表彰

優勝 賞状・優勝杯・優勝メダル
準優勝 賞状・準優勝盾・準優勝メダル
(優勝杯・準優勝盾は持ち回りとする)

会費

開催初日に各チームより大会参加費として、¥5,000を徴収する。
※試合球は大会本部で用意する。(ナガセケンコーボール)

勝 敗

- ① C級は16チームによる4ブロックリーグ戦とし、ブロック予選を行う。
ブロック予選の1位が決勝トーナメントに進出し、その勝者を優勝とする。
 - ② D級は12チームによる3ブロックリーグ戦とし、ブロック予選を行う。
ブロック予選の1位が決勝トーナメントに進出し、その勝者を優勝とする。
尚、D級においては各ブロックの2位で、最少失点のチームが決勝トーナメントに進出し4チームにて決勝トーナメントを行うこととする。(ワイルドカード方式)
 - ③ C級は70分(D級は60分)を超えた時点で、次のイニングに入らない。
予選は、リーグ戦であるため、同点の場合引き分けとする。
 - ④ リーグ戦で同率の場合猪名川連盟大会規定に準拠し、下記の順位で決定する。
①失点で決める ②得点で決める ③直接対戦の勝者 ④未決着の場合は抽選
 - ⑤ D級特別ルールとして投手の疲弊を救済するための措置として、攻撃側の1イニングの得点が5点を計上した時点直後のプレー終息時において、球審が攻守交代を宣言する。
ただし、走者をおいての長打により5点を超えての得点の場合、超過分の得点も加点する。
(守備の緩慢プレー抑止をねらいとする。)
- 〈例〉 当該イニングにおいてすでに4点を得点済みで満塁時、当該打者が走者一掃の三塁打等を放った場合は、投手にボールが戻され、走者にそれ以上進塁の意思なしと球審が判断した時点で攻守交代とする。
この場合、得点は3点が加点され、当イニング7点となる。
無論、7点目となるべき走者が本塁でタッグアウトとなった場合などは、6点が加点され、3アウト・チェンジとなる。
3塁走者が捕逸・牽制悪送球などにより5点目を得点した場合、当該打者は次回攻撃時の先頭打者となる。
*なお、決勝トーナメントにおいては5点ルールは適用しない。

審 判

- ①球審
猪名川連盟登録審判員が務める。
- ②塁審(ユニフォームでの塁審は禁止、審判にふさわしい服装)
 - ・ 塁審については3審制を採用。
 - ・ 一塁と三塁は当該対戦チームから義務塁審を選出し自軍ベンチの反対側とする。
- ③判定と抗議
審判に対する抗議は原則として認めない。
ただし、明らかにミスジャッジと思われる場合は当該チーム監督の申し入れにより、球審の権限において抗議を認める。
- ④ボーク
ボークや妨害ルールによる相手チームへのアドバンテージは適用せず、選手・監督への注意にとどめ、それ以前の状態からの再開とする。

試合マナー

- ①対戦相手や審判に対しての罵声や怒号、常軌を逸脱した言動は慎むこと。
 - ②攻守交代は迅速におこなうこと。
- [補足]投手起用に関する申し合わせ(平成18年9月1日)
対象学年が低学年であることを踏まえ、多投による肩や肘の障害を防ぐ目的から各チーム指導者は下記のことを意識付けすること。
〈1〉投手1人あたりの1日の投球数は、80球を目安とする。
- [補足]補欠登録選手の積極的な起用及び再出場に関する申し合わせ(平成18年9月1日)
多くの子供達に試合を体験させる観点から、補欠登録選手を積極的に選手起用すること。
また、ケガ等によってプレー続行不可となった選手への交代要員が不在のとき、審判および対戦相手チームの了解のもと、それ以前の交代により一旦退いた選手が再出場することを認める。